

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

会津美里町長 杉山 純一

市町村名 (市町村コード)	会津美里町 07447
地域名 (地域内農業集落名)	永井野地区 (上町・中町・下町・漆原)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 8年 2月 20日 (第 2 回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

・当地区は高田地域西部の平坦地に位置し、区画整備事業が完了した圃場には水稻を中心に、様々な野菜や果樹等が栽培されている。
 ・地区内の農地は主に地域内の担い手为中心となり耕作されているが、高齢化により今後は、地域外からの担い手の確保が必要な状況にある。
 ・地区内の水利は確保されており、用水が不足することはほとんどない状況である。
 ・農業用施設(農道・水路等)の老朽化による維持管理や、農業者の高齢化による共同作業が年々困難になっている。

【地域の基礎的データ】農業者:16人(農林業センサス) 認定農業者:3人 新規就農者:0人
 主な作物:水稻、野菜、果樹(リンゴ、カキ)等

(2) 地域における農業の将来の在り方

・今後も水稻を中心に耕作していくため、地域内担い手の育成・確保を図りながら、地区外からの認定農業者等へ農地の集約化や団地化を進め、効率的な生産体制を構築していく。
 ・農業用施設(農道・水路等)の維持管理は、町や土地改良区の補助金等を活用しながら行っていく。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	92.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	92.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

・地区内農業振興地域の農用地区域を中心に設定する。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・町農業委員会と連携し、農地中間管理機構を通じて経営拡大を希望する農業者へ農地の集積・集約化を図る。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・地域の農地の貸し借りは原則として農地中間管理機構を活用することとし、担い手の経営意向を踏まえながら効率的な営農につながる農地の集約化を目指す。
(3)基盤整備事業への取組方針
・取り組む予定はない。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・地域内農業者の育成・確保を図りながら、高齢化も進んでいるため、地域外からの担い手の確保にも努めていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・地域内外の担い手による作業委託を進め、農作業の効率化等を図り農業経営を維持できる体制をつくる。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

⑦農地や農道・水路等の維持管理については、町及び土地改良区と連携を図りながら適切に管理を行う。